

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 団体用 )

## I 基本事項

整理番号

1282

事業名	幼稚園連合PTA補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	生涯学習文化振興課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3020		項	社会教育費・5項	
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	社会教育総務費・1目	
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり_知恵あふれ_郷土愛が満ちるまちづくり_			
	まちづくりの目標	一人ひとりが明日を拓くリーダー【教育】			
	施策目標	子ども達や市民が、南あわじ市の未来を切り拓くための、多様な能力を身につける機会を提供する			

## II Plan&amp;Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)			
		西淡幼稚園連合PTA(PTA会員、園児、教師)	構成人数(人)		
		200			
	実施内容	活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)			
		市内には幼稚園と保育園があり、保育園側としても保護者会等の組織が存在する。幼稚園6園の保護者間等の連携を図る。			
	団体の概要	(主な事業、活動内容等)			
		春の役員改選により組織の改正を行う。役員は順次回ることとなっており、改選は容易である。総会で事業予定を決め、6園の交流及び連携を進めて行く。			
補助金算出根拠	(どのような団体か、活動目的、活動内容など)				
	小中学校にもPTA組織があるように、幼稚園においても必要不可欠である。旧西淡町から存在した組織を新市でも継続。				
補助交付期間	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体	<input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 ( )	
				<input type="checkbox"/> 旧町単位 ( ) <input type="checkbox"/> 旧村単位 ( )	
合併協議事務調整内容	補助交付期間 <input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし				
	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 継続の話は、当時予算担当課の学校教育からの申し送り事項であった。					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インパクト	直接事務費 (千円)	0	90	77	77
	補助金		90	77	77
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	0	90	77	77
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	0	90	77	77
	「目的」対象一人当り経費 (千円)	0.0	0.5	0.4	0.4
受益者人数( 200 ) 1人当り経費(千円)	0.0	0.5	0.4	0.4	
経費に関する 補足説明	会員の会費も併せて事業費となる。この金額で運営は限界までできている。				

### Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 役員間の親睦と連携が持てた。また、6園による共同事業が実施された。少子化の中、コスト面を考えた、現状の補助金ではまずまずである。効率性においては、歴史ある幼稚園であり、役員が改選しても、教諭のサポートが十分できている。現状の予算から言っても事業効果は十分に果たしており、会員間での交流は今後も継続希望である。少数の園において合同事業は大きな交流の場でもあり、意味も大きい。会員からも会費を募り、補助金と併せての事業開催であり、補助金額と事業効果を考えてもコスト面は十分満たしていると考え。	自己評価 (5点評価)
		4
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 旧西淡町から存続する幼稚園は、保育所とは違った方法での幼児教育を実施し、地域に根ざした運営がなされている。保護者以外で、地域密着型教育ができる幼稚園は、今後も必要である。 幼稚園の運営において、PTA組織は必要であり、存続しないといけない。	自己評価 (5点評価)
		4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 幼稚園間の連携を図るためにも必要である。特に役員や会員が多数出役して行う親子ふれあいフェスティバルは、6つの園児や保護者以外にも門戸を広げ、松帆保育園等の参加もできるイベントを開催、継続していることが素晴らしい。最近、保護者間の関係が疎遠になりかけているので、これを通じて交流を図れることは大きな利点である。	<p>評価グラフ</p> <p>費用対効果 必要性</p>

## IV Action&amp;Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>今後幼稚園の統合があれば変化もあるかもしれないが、現状では現状維持である。            ただし、交付方法として、連合PTA補助金と統合して交付することとする。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>幼稚園の保護者の連携や園の運営を考えると、中止をした場合のマイナス面は計り知れない。</p>	